

日本教育大学協会
各会員大学長・学部長 殿

日本教育大学協会長
出口利定
(公印省略)

平成27年度日本教育大学協会研究助成の公募について（通知）

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本協会では、別添の要領のとおり研究助成の公募を行うことになりました。

つきましては、各会員大学・学部の関係各位に周知し、とりまとめのうえ、平成26年12月1日（月）までに申請願います。

なお、今年度の公募に際しては、教育研究の活性化に資するため、若手を含みより多くの研究者に応募してもらうため応募及び選考ルールについて下記の見直しを行いました。

- (1) 再採択までの期間について見直し、3年以内に採択された研究代表者及び研究分担者について申請時に制限の対象とすることとしました。
- (2) 公募枠として **A. 一般公募枠** と **B. 若手研究者枠** を設置し、若手研究者の優先枠を設けました。

【研究助成の公募枠】

A. 一般公募枠（応募資格を有する複数の教員による研究）

1件100万円を限度とし、5件程度を採択します。下記の4つのカテゴリと重点テーマを設定いたしました。申請に際してはカテゴリ区分を明記されますようお願いいたします。

カテゴリ		重点テーマ
I	学士及び大学院課程の教員養成に関する研究	教員養成系大学・学部及び大学院における教員養成教育の質保証に関する研究
II	附属学校園に係る教育研究	附属学校園の機能・役割（教育実習等）の充実に係る研究
III	地域と大学との連携・協働に関する研究	教育委員会と大学の連携協力に関する研究
IV	今日的課題に関する研究	例えば 学制改革・教員免許制度・いじめ問題・防災復興教育等

B. 若手研究者枠（研究開始年度の4月1日現在39歳以下の応募資格を有する複数の教員による研究で、研究代表者及び研究分担者のすべてが年齢の範囲内であること。）

1件50万円を限度とし、1件を上限に採択します。申請に際しては、研究代表者及び研究分担者の平成27年4月1日現在の年齢及びカテゴリ区分（A. 一般公募枠と同じ）を記入すること。

[応募に関する注意点]

- ・「応募資格を有する複数の教員」による研究であることが要件です。単独又は応募資格のない者を含む共同研究による申請は認められません。
- ・多くの方に広く助成をするという観点から、平成24年度以降（過去3年以内）に採択された研究代表者及び研究分担者は応募することができません。
- ・この研究の成果は平成28年度の『日本教育大学協会研究年報』に採録されます。
- ・審査にあたっては、教育系大学が行う研究として相応しいものという観点から行います。